

リレー競技に救急救助の方法を組み込んだ「防災運動会」が別府市内で広がっています。組み込んだ「防災運動会」が別府市内で広がっています。

# 広がる『防災運動会』



別府市

竹の内、大畠、小倉自治会が合同で開いた運動会。毛布を材料にした応急担架作りや、人形を使った心臓

2人1組となった住民が水

消火器で的を狙った。竹と

んは「水消火器を初めて使

つた。気軽に救助方法を復

習できるのがいいですね」。

主催した総合型地域スポーツクラブ・大平山湯の街

「いざという時に備えるに

は日頃からの訓練が大切。

救援を通して、地域も一体に

なれた」と感じる。

昨年11月、市内の防災訓練

モデル地区で初めて披

露。これまでに市や自治会

の避難訓練、運動会など4

力所で実施した。発案した

市危機管理課の広畠祥司主

査は「訓練のマンネリ化を

解消し、地域で助け合う意

識を高めることが狙い。年

齢を問わず、親しみやすい

防災活動として広げていき

たい」としている。

リレー競技に救急救助の方法を組み込んだ「防災運動会」が別府市内で広がっている。コースに消火器の使用法や担架作りといった関門を設けることで、楽しながら技術が身に付くと好評。自治会行事に取り入れる動きも出てきており、普及を進める市は、市民の防災意識の高まりにつながることを期待している。

## 競技で担架作り、消火器操作

### 楽しく救助技術学ぶ

①防災を学ぶためにどのような内容にしていますか。

「楽ししながら救急救助法を学ぼう」。担架運びをこなす出場者(左)＝別府市の大平山小学校

②紹介されている以外に、防災を学べる内容を考えてみよう。

③防災のほかに、「役に立つ競技」を考えてみよう。

(2014年8月3日朝刊11面)